

e:HEV に搭載する次世代技術「Honda S+ Shift」を世界初公開

Honda は、独自の 2 モーターハイブリッドシステム「e:HEV（イーエイチイーブイ）※」の次世代技術について取材会を開催し、今後発売するハイブリッドモデルへ順次搭載を予定している、エンジンとモーターを制御しレスポンス性を高める技術「Honda S+ Shift（ホンダ エスプラスシフト）」を世界初公開しました。

Honda S+ Shift は、2025 年に発売予定の「PRELUDE（プレリュード）」を皮切りに、次世代 e:HEV 搭載の全機種に順次搭載していく予定です。



Honda S+ Shift ボタン

e:HEV は、高効率の 2 モーターハイブリッドシステムがもたらす圧倒的な燃費の良さ（環境性能）と、大出力モーターによる上質で爽快な走り（走行性能）を両立する、Honda の独自のハイブリッドシステムです。運転状況や走行環境に応じて、モーター駆動とエンジン直結駆動を最適に使い分けることで、走行状態に応じた緻密な制御によってドライバーが意識して運転しなくても低燃費を実現できるとともに、ドライバーの運転操作にリニアに呼応する意のままの走りの実現を目指します。

今回新たに開発した Honda S+ Shift は、e:HEV の特性を生かしながら、さらにドライバーとクルマの一体感を際立たせる「操る喜び」を追求した新機能です。

2020 年に発売した e:HEV を採用した「FIT（フィット）」から、車速とエンジンサウンドを連動させる制御「リニアシフトコントロール」を搭載しています。今回、リニアシフトコントロールを進化させ、e:HEV ならではの高い環境性能はそのままに、加減速時に緻密にエンジン回転数をコントロールし、ダイレクトな駆動レスポンスと鋭い変速を実現します。さらに、エンジン回転数と同期した迫力のある音をスピーカーから流すことでエンジンサウンドの音質を高めるアクティブサウンドコントロールシステム、およびこれと協調し俊敏に反応するメーターなどにより五感を刺激し、よりドライバーとクルマが「Synchronize（一体化）」するような、爽快で意のままの走りの提供を目指しました。

<Honda S+ Shift の特長>

●聴覚と視覚に訴えかける新システム

2つの大出力モーターとアクティブサウンドコントロールシステムを連動させることで、エンジン回転数に応じた迫力あるサウンドでドライバーの高揚感を掻き立てるとともに、鋭いシフトフィーリングを実現。メーターもアクティブサウンドコントロールと連動し、クルマとの一体感を増幅します。

●リニアなレスポンス性

現行 e:HEV モデルに適用するリニアシフトコントロールを進化させ、Honda S+ Shift では全車速域において、運転状況や走行環境に応じた変速（アップシフト、ダウンシフト）を実施。またシフトホールドが作動する状態では、運転状態に合わせた最適なエンジン回転数を維持することで、再加速時におけるエンジン発電電力を最大限駆動力へ活用します。これにより、アクセルを踏んだ際のモーター初期応答時間を大幅に短縮させ、ドライバー操作と直結した、リニアなレスポンス性を発揮します。

●エンジンとモーター制御による有段変速フィーリング

メカニカルな変速機構を持たない e:HEV においても、Honda S+ Shift 作動時にはパドル操作による変速も行い、まるで有段ギアを変速したようなドライブフィールを実現します。エンジンと大出力モーターの協調がもたらすリニアな変速レスポンスによって、ドライバーの操作にダイレクトに呼応する、操る喜びの提供を目指します。

Honda S+ Shift の名称には、S600 や S2000、TYPE S など、Honda の操る喜びの根源となるスポーツスピリットを表すモデル・技術に冠する「S」に加え、「Synchronize」「Special」「Sensational」など、本機能がもたらす新たな価値を「+（プラス）」し、ヒトとクルマを新たな世界に「Shift（シフト）」させていくという思いが込められています。

※ e:HEV は、電動化コア技術である高効率・低燃費な 2 モーターハイブリッドシステムのグローバル統一呼称。“e:”には「electric（電気）を energy（原動力）にして、みんなの笑顔と元気を力強く energize（活気づける）していく」という意味が込められています